



東京都立府中東高等学校

東京都立府中東高等学校 生物部

「府中市多摩川における外来植物の分布について」 ～アレチハナガサの拡大～



Action

学校のそばを流れる多摩川は、私たちにとって身近で大切な自然です。都市において、河川敷は数少ない自然立地であり、様々な植物群落がみられる自然性の高い場所です。その一方で、外来植物が侵入しやすい立地でもあることから、近年では、河川敷における外来植物の広がりや在来植物の減少が問題となっています。多摩川河川敷では、礫河原特有の在来草本群落が絶滅危惧種となり、植栽など回復の試みがなされてきましたが、現在府中市では完全に消滅したと報告されています。そこで私たちは、河川敷内の7地点を調査地点とし、各地点で方形区を5つ設置し植生調査を行いました。結果として、河川敷内で外来生物が最も多かったのは高水敷の藪であること、多かった外来植物はセイタカアワダチソウ・アレチウリ・オオブタクサ・アレチハナガサなどであることが分かりました。中でもアレチハナガサは、2014年以降急速に増加し、絶滅危惧種の生育地である礫河原に広がりつつあることが分かりました。

今後はさらにアレチハナガサの生態について調査を続け、外来植物の駆除や在来植物の回復など、多摩川の生物多様性を守る活動に繋がっていきたいと考えています。